

# 企業訪問 循環型最前線レポート

(株) ダイセキ環境ソリューション

## 廃食油をバイオディーゼル燃料へ

## 大規模生産を目指す

(株) ダイセキ環境ソリューション



株式会社ダイセキ環境ソリューション

■代表者／二宮利彦

■所在地／名古屋市港区船見町1-86

TEL.052-611-6350 FAX.052-611-4022

「限られた資源を活かして使う」をモットーに全国ネットワークで資源循環型社会の実現に取り組むダイセキグループ6社の中の1社、(株)ダイセキ環境ソリューションの常務取締役 環境事業本部長 山本浩也氏に、今年3月から事業を開始した廃食油をバイオディーゼル燃料へリサイクルする事業についてお話を伺いました。



常務取締役 環境事業本部長 山本浩也氏

### 廃食油回収、BDF 流通のネットワークを構築

山本氏は工場見学を前に、同社が生産するバイオディーゼル燃料の特長やビジネスモデル、マーケティングについて、プレゼンテーション用資料をもとに説明していただきました。

「バイオディーゼル燃料 (BDF) とは、一般的に植物油をメタノールとエステル交換反応させ、脂肪酸メチルエステルとして、ディーゼル機関用燃料としたものです。植物由来なので京都議定書の規定上、CO<sub>2</sub>の排出がゼロカウントで、大気汚染物質も排出されません。これまでも市町村や企業、NPO法人などそれぞれ独自にリサイクルに取り組んでいるところはありますが、安心して委託できる先がない、施設が小規模で安定的な受け入れが不安、事業基盤が弱く継続性に不安がある、製品の品質が心配などの声が聞かれました。

当社では、廃食油排出元 (流通・外食大手など)、

BDF利用者（運輸・建設大手）とパートナー提携を結び高い結束力を有するコンソーシアムを結成しました。一貫した確実なリサイクルルートを安定・大量に確保するシステムです。

排出元にとってはCSR工場で他社との差別化がはかれ、社会・顧客からの支持拡大につながったり、受け入れ先にとっては高品質のBDFの安定的利用が可能になるなど、それぞれの立場でのメリットもあります。」と事業スキームをお話いただきました。

## 全国年間生産の1/3を生産。 全国展開を視野に取り組み

また、リサイクル技術にも特徴があるということで、環境事業本部BDF事業部 技術アドバイザー 中菌 豊氏の案内で実際に工場を見学した後、今後の展望についてのお話も伺いました。

「日本初の革新的特許を採用し、非水系吸着方式の実用化により排水処理不要で高品質エステル製造を実現しました。また自社で分析ラボを所有しているのでリアルタイム分析により高度な品質管理が可能になりました。作業途中で発生する副産物のグリセリンなどはグループネットワークを活用して有効リサイクルしています。」

現在BDFは全国で1万キロリットル以上が生産されていますが、1団体がつくる量は年間10～50キロリットルと小規模ですが、同社では11社と連携をすることで安定的な循環を実現し、事業として確立することに取り組んでいます。

製造能力としては、原料（廃食油）12キロリットル／日で製品（BDF）10キロリットル／日で、保管能力は原料100キロリットル、製品50キロリットルに加え予備保管タンクは50キロリットルのタンクが4基あります。



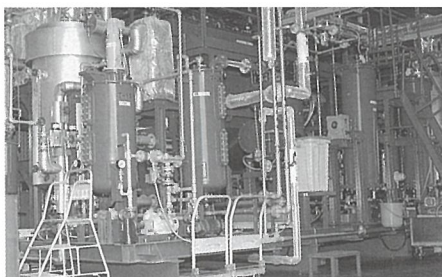
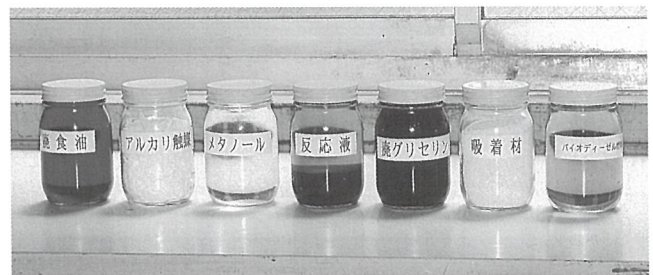
BDF事業部 技術アドバイザー 中菌 豊氏

CO<sub>2</sub>削減効果としては、10キロリットルのBDFにより、約26,400キログラムのCO<sub>2</sub>削減に貢献しています。これは1か月で約100ヘクタール（熱田神宮5個分程度）の杉人工林年間吸収量に相当します。こういった環境への貢献が評価され、愛知県平成23年度循環型社会形成推進事業費補助金の採択事業に認定されました。

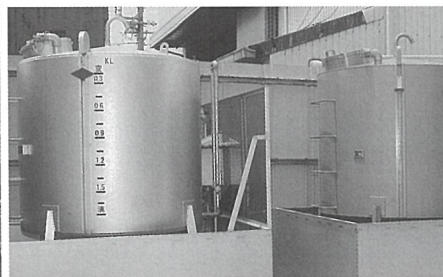
事業計画では、まずは中部でスタートをさせ、年間3,000キロリットルを目指していますが（現在の全国年間生産の約3分の1）、いずれは全国展開を視野に入れているそうです。

お話を伺いながら、資源循環、環境保全などに取り組む当協会の皆さんにもつながる事業だなという感想を持ちました。関心を持った方は是非一度お問い合わせしてみてください。

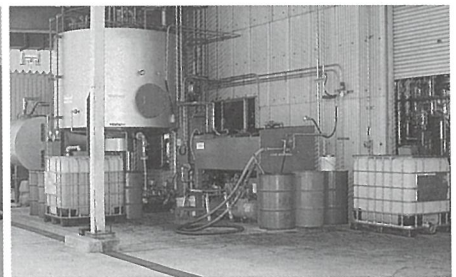
【問い合わせ先】(株)ダイセキ環境ソリューション  
BDF事業部／福井、箕浦 TEL 052-611-6350



BDF製造プラント



小型給油タンク



廃油受入ピット